

NextStep

令和元年12月16日
県事研研究部

No.34

こんにちは、県事研研究部です！

月日の経つのは早いもので、秋季研究会からふた月ですね。研究会の一日を通して、前向きになった気持ちは今も続いていますか？落ち込むときがあっても、研究会や仲間を思い出して、またがんばりましょう。

今回の Next Step は秋季研究会特集です。各分科会の様子などをお読みいただき、また気持ちを新たに日々の仕事に励みましょう。

全体会

講演 演題 学校事務の業務改善 ～“改善の芽”をみんなで育てましょう！～
講師 河合町河合第一中学校 主査 松田 優子 氏

奈良県の教育委員会指定研究員としてのプロジェクト研究についてご講演をいただきました。財務に関する教職員の意識改革を目指して財務マネジメントを行った結果、学校の業務改善や事務の効率化につながったという実践の成果と、その後の現状についてのお話でした。また、奈良県のグループワーキング（共同実施）の取り組みや、新たに策定された標準的職務内容についても説明があり、福井県においても時代に応じて見直していく必要があると思いました。

第1分科会

テーマ 事務機能を強化して、めざそう業務改善（学校事務機能の強化）

導入が始まった校務支援システムに着目し、業務改善の視点から「学校事務機能の強化」と「事務職員のはたらき」について考えました。前半はシステム運営会社の方からシステムの概要について、おおい町名田庄中学校 早川教頭先生から導入後の学校の様子をお聞きしました。

後半はグループワークを行い、業務改善についての活発な意見交換の中、具体策を出し合い、自分の行動におきかえて考える事ができたのではないかと思います。その行動の積み重ねが「つかさどる事務職員」へつながることを確認できました。また、最後に早川教頭先生から自信を持って職員それぞれの特性を生かし、協働して業務改善をめざそう」とお話をいただき元気ができました。

第2分科会

テーマ 学校施設整備の現状と課題 (学校経営と教育予算)

「福井市における学校施設の整備について」のテーマで福井市教育総務課の方にお話をして頂きました。文科省の学校施設整備指針や福井市の現状、避難所としての学校など、教育委員会からの視点ならでのとても興味深いお話でした。

その後、越前・丹生・鯖江支部より各支部の実状についての発表していただき「学校施設・管理について 私たち事務職員に出来ることを考えよう!」のテーマでグループワークを行いました。講師の方にも参加していただき、それぞれの市町のいいところ・困っていることなど、ワークシートに沿って活発な意見交換が行われていました。

第3分科会

テーマ みんなでつくる学校事務～令和から始める**れんけい**の**わ**～ (学校事務の協働と連携)

前半は講義形式で、坂井市の学校施設管理マニュアルや福井市の学校日誌電子化などの事例を通して施設管理や業務面での協働・連携について学びました。後半は、グループワークを行い、学校におけるリスクマネジメントを学びながら校内での連携を考えました。福井市事務職員部部長の田中校長先生のご講評もいただき、とても有意義な時間になりました。

～参加者の意見～

「施設マニュアルの作成に取り組もうとしているのでとても参考になりました。」

「グループワークは事務職員目線で考えることが難しかったです、あえてそれに取り組むことで意識が変わるように感じました。」

第4分科会

テーマ 共に創造しよう!子どもたちの豊かな学びのために
～つながる心をつなげる力に～ (学校事務の組織化)

カリキュラムマネジメントと業務改善について、事務職員としてどのように関わることができるのか、茨城大学教職大学院 加藤崇英先生の講演やグループワークを通して理解を深めました。

グループワークでは、取組を実践につなげるための過程を示したワークシートを用いて、意見を出し合いながら解決策を模索しました。その後に加藤先生からご講評をいただき、取組の過程についてさらに深く掘り下げて考えることができました。子どもたちのために何をすべきか考える「つながる心」と、事務職員の専門性を活かして他職の人たちを主体的につなげていく「つなげる力」を発揮することで、課題解決に向けた手がかりがあると実感することができました。